
裏切り と 秩序 の 狭間

央 8 4

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

裏切り と 秩序 の 狭間

【Nコード】

N5656X

【作者名】

央84

【あらすじ】

この世界に情なんてない。
過酷な世界を生きる二人のお話。

3×××年、2月29日。
誰かが、一言呟いた。

「この世界に『情』など……ない……」

・ ・ ・ ・ ・

「おうい……」

「おうい……そのお姉さん……」
血と肉片の腐乱する瓦礫の隙間から、手が飛び出している。

私のボロい情報私知機^{ウォッチ}は、ギギ……と音を立てて立体映像を作ろうとする。

「どうなされましたか？」
仕事前の笑みを浮かべ、人に近づく。

「ああ、瓦礫を退けてよ」
どうやら、すっぽり埋まっているようだ。
私は直ぐに構えた。

すると、その構えた手に合う銃が情報私知機より映し出され、立体化する。
すぐさま、一つの瓦礫を破壊した。

「ふぁ、あ！ありがとね！」

すると、手はゴソゴソと瓦礫を探り、掴み回転して立ち上がった。

「じゃあね」

去ろうとする、そいつの肩を私は掴んだ。

+ 1 (後書き)

携帯で投稿していきます！
なんか緊張：

「待ちなさいよ」

私は、何処かへ行こうとする男の子の肩を掴んだ。

「ほえ…？」

「はい」

男の子に差し出したのは、小切手。

表示価格は、45万ジル。

「払って頂戴」

男の子は首を傾げ、何かブツブツ呟いている。

「家まで来てく…あ！」

パン、と手を叩いて、男の子は袖を捲った。

そこには立派な情報私知機^{ウオッチ}。

私のより高性能…。

「はい、あげる！」

45万ジル丁度を受けとる。

「私は上1級警察官、ハルラ・ダニウエル
貴方は？、と返してみる。

「…ん…、っと…アスタロト。
アスタロト・ベア。」

私は、不思議な少年に今日であつた。

なんだったの…！？

あの子供…不思議すぎるわ…

そう思いながら、私は支部へ到着した。

自分の椅子にすわり、貯まった書類の処理を始める。
それでも未だにあの子供への疑問が湧き上げてくる。

「お疲れです、副支部長。」

「あ、ディーン。」

新人社員のディーンが、私の机に書類を置いていく。
印鑑を押しすぐに返す。

「ところでさ、ディーンくん。」

小さい子供がめちゃくちや大金持ってたんだけど」

「ああ、ここら辺では有名な『大罪一家』ですかね？」

「なに？それ」

「え、つと…」

七つの大罪に因^{ちな}んだ名前をつけ、
強力な戦闘能力を持っている戦闘部族ですよ！」

戦闘部族…か。

「仕事のじゃまして悪かったね、ありがとう」
「いえいえいえ！では！」

書類を持って、ディーンは帰って行く。

「なんか、楽しそうな部族だね……」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5656x/>

裏切りと秩序の狭間

2011年11月5日17時15分発行